

概要報告書

2016年度

事業種別	県域安全事業
団体名	特定非営利活動法人 佐賀 DARC
事業名	薬物依存症回復支援者養成事業
<p>薬物依存症支援者養成事業として、一般、医療・行政・福祉・司法関係者、回復施設関係者等を対象に、佐賀県内・県外へ参加を呼びかけ下記のとおりセミナーを開催した。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p>事業の名称 依存症回復支援セミナー</p> <p>日時 平成29年1月21日（土）13:00～17:00</p> <p>場所 佐賀弁護士会館（佐賀市中の小路7-19）</p> <p>参加者 80名</p> <p>内容</p> <p>(1) シンポジウム「回復の多様性」 長崎ダルク：中川賀雅、三重ダルク：市川岳仁、東京ダルク：幸田実、藤岡ダルク：山本大、栃木ダルク：栗坪千明、山梨ダルク：佐々木広 6施設の各代表スタッフより発表し、それぞれの支援方法についてのシンポジウムを行った。</p> <p>(2) DARCとは 九州ダルク 大江昌夫 佐賀DARCの立ち上げに関わり、苦勞して施設を借り上げるなどして現在の松尾代表に引き継いだことなどについて話した。</p> <p>(3) パネルディスカッション「回復の役割」 肥前精神医療センター医師：吉森智香子、団野総合法律事務所弁護士：団野克己、佐賀保護観察所統括保護観察官：嶺香一郎、さがセレニティクリニック：山田幸子、佐賀ダルク：松尾周 各パネラーがそれぞれの関わりについて発表し、依存症の患者が回復するために関係機関の連携が必要であることを確認した。</p> <p>(4) 回復とは ダルク創設者 近藤恒夫 依存症患者の気持ちに寄り添うことが必要であることなど述べられた。</p>	
 	

注)上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全研究財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。